

福生の歴史



平成二年二月一日
平成二年六月三〇日

平成三年（一九九二）

- 2・1 第11回編さん委員会
- 2・2 森田製糸書簡整理（小作調査員）
- 2・18 『資料編近世3』校了
- 2・20 資料編民俗下入校
- 3・2 研究誌編集（新井委員）
- 3・7 民俗班研究会
- 3・12 近代資料編打合わせ（新井委員）
- 3・16 福生市史公開講座 「中世福生の宗教と民衆」 遠藤廣昭氏、「福生市史資料編を通して福生の生活文化を学ぶ」河上一雄氏
- 3・20 『資料編近世3』刊行
（通史下巻、研究誌等について）
- 3・27 友野家文書調査（於入間市、多仁・多田・落合・峰岸調査員）
- 3・30 現代班打合せ（川鍋委員、橋本・田村・高崎・田中調査員）

- 4・23 豊島屋酒造調査（東村山市、多田・峰岸調査員）
- 4・30 議会選出編さん委員4名任期満了
仲村清信委員 林田 武委員
上野重勝委員 野口秀世委員
- 5・15 議会選出編さん委員4名決まる
赤星人委員 佐藤慶二委員
須釜亮次委員 指田保雄委員
- 5・21 民俗班研究会
- 5・24 民俗班研究会
- 5・27 第60回編集専門委員会
（通史上・下巻の編集、執筆体制の点検）
- 5・31 資料調査（北原委員、多田調査員）
- 6・7 民俗班研究会
- 6・10 資料編編集（近代 新井委員）
- 6・15 教育委員選出の木村和男委員が任期満了
- 6・17 教育委員選出の新編さん委員が大野達夫氏に決まる
- 6・30 文化財保護審議会選出の橋本孝藏委員が任期満了

編集後記



『みずくらいど』十三号をここに刊行いたします。本号も豊かな内容とさせていただきます。お忙しいなかにあつて、貴重なお原稿をお寄せいただきました執筆者の方々には厚く御礼申し上げます。さて本誌も号数を重ねて参りましたが、各号をあらためて読み返しますと、一つの研究の中に新たな発見がありました。また本誌には、当初から「編さん・編集委員会と市民との交流誌にしよう」という意図があり、この点かならずしも十分とは言えないものの、「市民が綴る福生の歴史」をはじめとするコーナーには、市民の方々による辛口、甘口のご意見や評価が随所に再確認できたことも大きな収穫でした。

現在、市史編さんはまさしく「山場」にあります。よりよい『福生市史』を目指し尽力する所存です。

◇編集担当は、宮岡一雄・久保田昌希

みずくらいど 13号 (福生市史研究)

平成3年(1991)11月30日 発行

編 集 福生市史編さん委員会

発 行 福 生 市

〒197 東京都福生市本町5番地

電 話 0425(51)1511

印 刷 株式会社 精 興 社

〒198 東京都青梅市根ヶ布1-385番地
